

ガーナからの手紙

2019年1月4日

青年海外協力隊 2018年度2次隊
市川 将志 (いちかわ まさし)

明けましておめでとうございます！



A Happy New Year!

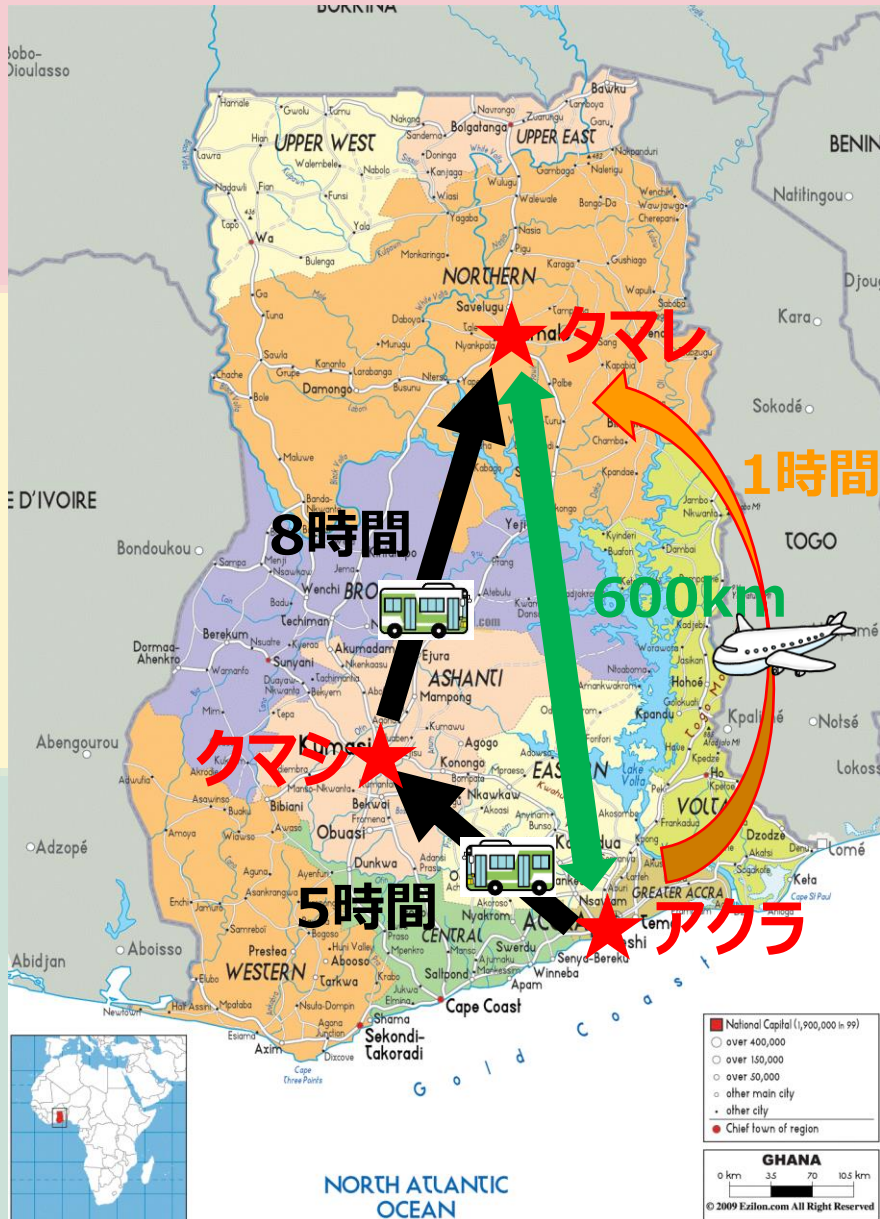
Ni ti yum pali.

(現地語のダバニ語)

目次

1. 首都アクラからタマレへの移動
2. ガーナのクリスマス、年末年始
3. ガーナ生活事件簿
4. タマレで撮った写真紹介

首都アクラからタマレへの移動



前回
バスで13時間の移動



今回
飛行機で1時間！
素晴らしく早い！



ちなみに、チケット代（片道）は
バス：約2,800円
飛行機：約9,500円
やはり飛行機は早い分高い・・・

最近のタマレの様子

10月から4月までは乾季で今は真っ只中です。約2ヵ月雨が降っていません。今はハマターンと呼ばれるサハラ砂漠からギニア湾に向かって吹く貿易風が強く、サハラ砂漠からの砂が舞っています。中国から日本に来る黄砂のようなものです。

ハマターンの影響

1. 太陽が隠れ日光が弱くなるため**気温が下がる**。ハマターン前後で最高気温が38→35℃、最低気温が25→20℃になった。
2. **湿度が下がり**、日中は10%前後になる。空気中に砂が含まれて水分が吸収されるため。
3. 砂塵（さじん）によって**空気が汚染**される。PM2.5、PM10が増加する。
4. **飛行機が飛ばない**ことが多い。特に午後は飛ばない確率が高いらしい。
5. サハラ砂漠からの砂により**土壌（どじょう）が豊か**になる。土壌が回復する。



最近のタマレの様子



この日は快晴で空は青いはずが、ハマターンの影響で空が真っ白です。
1km先は白くかすんでいます。

ガーナのクリスマス(1)

現在最高気温36℃になるガーナでは日本人がイメージするクリスマスではないです。

また、クリスマスは**キリスト教のイベント**ですが、ガーナ北部は**イスラム教徒が多く**クリスマスの雰囲気はありません。イスラム教徒はクリスマスを祝うことはなく、いつもと変わらない日常を過ごしていました。南部はキリスト教徒が多いため、雰囲気が違うかもしれません。もちろん、キリスト教徒もいるので少しはクリスマスを味わえます。



大手ショッピングモールではクリスマスの飾り付けや、クリスマスグッズが売られています。
ガーナ人もクリスマスグッズを買う人が多く目に付きました。



日本でもおなじみのケンタッキーフライドチキン。一応クリスマスの飾り付けをしています。
KFCをクリスマスに食べるのは日本人だけです。本来クリスマスには七面鳥を食べるのが一般的だからです。

ガーナのクリスマス(2)

12/24 クリスマスイブ



家の近くにある教会に行ってみると、夜9:30から前夜祭のようなイベントをやっていました。神父が話し、みんなでアフリカンな音楽に合わせて歌う不思議な世界観でした。

12/25 クリスマス当日



前日とは別の大きな教会では盛大に祝っていました。イベントは昼過ぎに終わり、夜は家族で過ごそうです。

ガーナの年末年始

クリスマスの時以上に年末年始の雰囲気はないです。
クリスマスは街中にかざり付けがありますが、年末年始はそれがないからかもしれません。

イスラム教徒は家で料理をして祝うようで、年越しの時には街中にはいませんでした。
キリスト教徒は教会で祝うようでそれに勝手に参加して来ました。21時から2時くらいまで続く長いイベントです。。。



年が変わる瞬間にカウントダウンはなく、急に教会の鐘が鳴り響き、それと同時に歓喜の声と歌が始まります。



教会内に入り切らないくらい人が多いです。

ガーナ生活事件簿①

配属先がストライキで授業中止

【何があったのか？】

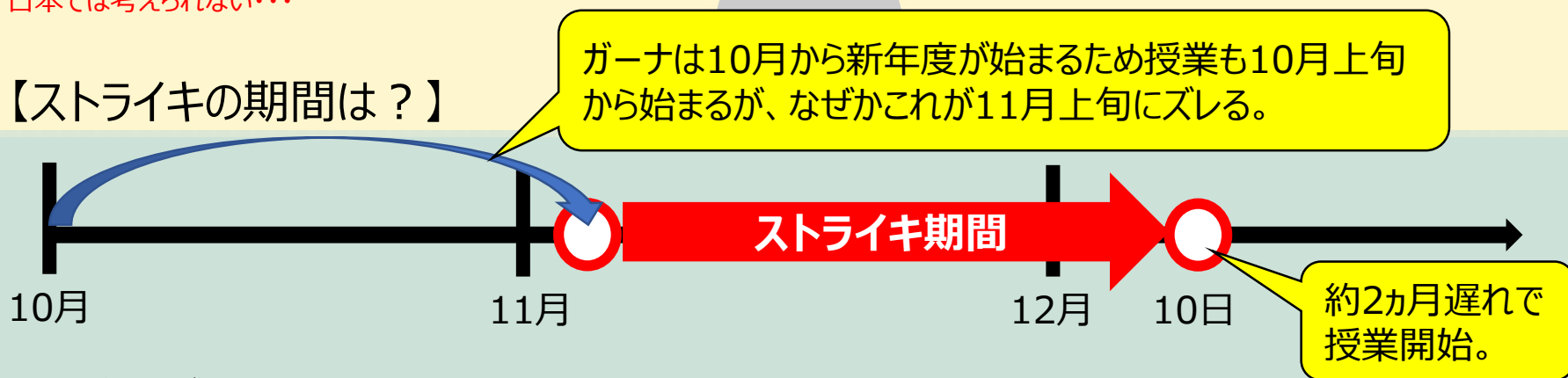
ガーナに46校ある公立の（政府が運営する）教員養成校の教員がストライキに入り、学生に対して**授業をしませんでした**。46校の内1校が私の配属先の大学です。

【なぜストライキに入ったのか？】

様々な理由で教員は給与、手当、その他収入の改善を政府に求めましたが、政府がそれを拒否したため**授業を行わないという対抗策**を取りました。

日本では考えられない・・・

【ストライキの期間は？】



【今後はどうなるのか？】

行われなかった授業がどうなるのか現時点では決まっていないようです。今後の教員試験や採用のスケジュールにも影響があるかもしれません。

ガーナ生活事件簿②

停電、断水はよくある

開発途上国あるあるとして、生活インフラ（電気、ガス、水道）が不安定です。それはガーナにも言え、**停電と断水は日常的**にあります。これまで電気は最長で**30時間**、水道は最長**8日間**止まりました。個人的には停電より断水が辛いです。

【大変なこと】

停電：パソコンを使った授業ができない。

断水：シャワーが浴びられない。手を洗えない。トイレが流せない。洗濯できない。

【対策】

停電：あきらめる。スマートフォン用のモバイルバッテリーをあらかじめ充電しておくくらい。

断水：近所の家から分けてもらう。近くの井戸からくむ。共同のタンクからくむ。



近所にある井戸

2016年に中国が作ったもので、この地域の人々の生活には無くてはならない重要な水源となっています。

ガーナ生活事件簿③

ダンバフェスティバルに参加

ダンバフェスティバルとは年に一度タマレ周辺で開催されるダゴンバ族の伝統的な祭りです。元々はイスラム教の預言者ムハンマドの誕生日を祝うための祭りで、開催期間は約1週間、最終日には数万人が参加して子供からお年寄りまで踊りまくる面白いイベントでした。

偉い人は馬に乗って登場しますが、その馬が群衆に突っ込んで来てひかれそうになりました・・・



ガーナ生活事件簿④

ファーマーズデイに参加

ファーマーズデイ(Farmers' Day)はガーナの祝日の一つです。ガーナの主な産業である農業と漁業を盛り上げることが目的で、家の近くで大規模なイベントがあってガーナの農産物や食べ物に触れました。



多くの人、ブースであふれていました。



チョコレートの原料のカカオ。



色々な物を食べられます。左からチキン、ウサギ、チョコレートドリンク。

**ここからは最近撮った
写真を紹介**

フットボール

ガーナでは小さな子供から大学生までフットボールをしている姿を毎日のように見かけます。さすがはフットボール強国。ガーナではイギリスの植民地だった影響なのか、サッカーではなくフットボールと言います。



小学生のフットボールの試合の様子。ゴールにはネットがありません。

ゴールした瞬間、周りで見っていた生徒と教師がグラウンド内になだれ込んで喜びます。これにはビックリしました。この状況でもまだ試合中です。



タマレの子供たち



最近はカメラを片手に散歩して、子供達の写真を撮って遊んでいます。日本では知らない外国人のおじさんに話しかけるのは止められるかもしれませんが、ガーナの子供達はガンガン話しかけて来ます。

